

令和7年

家計調査概要 福井市の家計

令和8年3月

福 井 県



# 目次

## 結果の概要

1 二人以上の世帯の家計の概要	
(1) 支出の動向	1
(2) 消費支出の内訳	1
2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要	
(1) 収入の動向	3
(2) 支出の動向	3
(3) 家計収支の内訳	4
3 消費支出からみた福井市の特徴	7

## 利用者のために

1 調査の概要	10
2 用語の説明	12
3 家計収支関連図	14

## 利用上の注意

利用に当たっては、特に次の事項に注意してください。

- ① この調査結果は、総務省統計局において集計した結果のうち、福井市の二人以上の世帯の分をとりまとめたものです。
- ② 調査結果は、農林漁家世帯を含む世帯を集計した結果です。
- ③ 統計数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計は必ずしも計に一致しません。
- ④ この調査は標本調査で、調査世帯は毎月順次交替しています。  
福井市の調査世帯は104世帯(二人以上の世帯96世帯、単身世帯8世帯)です。
- ⑤ 調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいと考えられますので参考値として御利用ください。  
また、前年や全国の結果と数値を比較するには注意が必要です。

# 結果の概要

# 1 二人以上の世帯の家計の概要

・福井市:集計世帯数 92、平均世帯人員 2.90人、平均有業人員 1.40人、世帯主の平均年齢 63.1歳  
 ・全 国:集計世帯数 7,261、平均世帯人員 2.87人、平均有業人員 1.34人、世帯主の平均年齢 60.7歳  
 令和7年の福井市の二人以上の世帯の1世帯当たりの1か月の消費支出の概要は、次のとおりである。  
 (統計表 第1表・第2表・第5表)

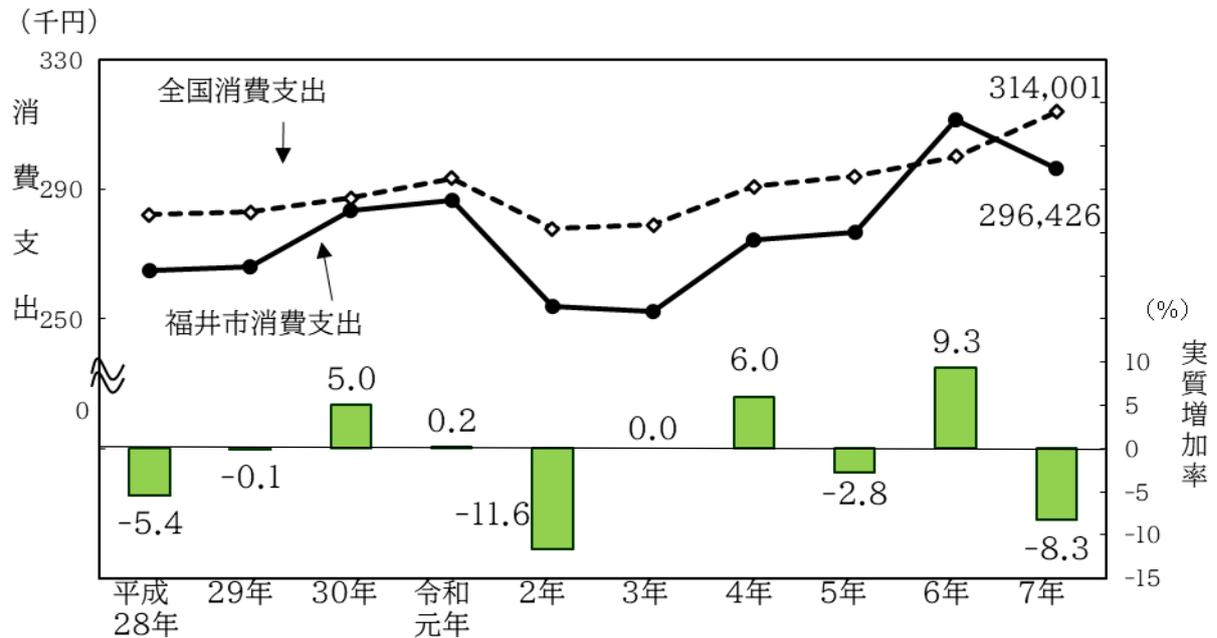
## (1) 支出の動向

二人以上の世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均296,426円となり、前年に比べ名目4.9%減少、実質8.3%減少となった。

また、全国は1か月平均314,001円となり、前年に比べ名目4.6%増加、実質0.9%増加となった。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、令和5年まで全国値を下回っていたが、令和6年は全国値を上回り、令和7年は下回っている。

図1 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯)



## (2) 消費支出の内訳

### ① 令和7年平均と直近3年平均(令和5年～令和7年)

二人以上の世帯の1世帯当たりの消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が29.0%と最も多く、次いで交通・通信、その他の消費支出となった。

また、全国は、食料が28.6%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となった。

なお、3年平均をみても、福井市、全国ともに食料、その他の消費支出、交通・通信の順に多くなっている。

表1 福井市と全国の令和7年平均消費支出と3年平均消費支出(二人以上の世帯)

	令和7年平均				3年平均(令和5年～令和7年)			
	福井市		全国		福井市		全国	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
世帯人員(人)	2.90	-	2.87	-	2.93	-	2.88	-
有業人員(人)	1.40	-	1.34	-	1.36	-	1.34	-
世帯主の年齢(歳)	63.1	-	60.7	-	63.2	-	60.4	-
消費支出(円)	296,426	100.0	314,001	100.0	294,890	100.0	302,747	100.0
食料	86,052	29.0	89,754	28.6	80,871	27.4	85,511	28.2
住居	9,650	3.3	18,665	5.9	16,685	5.7	18,248	6.0
光熱・水道	27,832	9.4	24,544	7.8	28,074	9.5	23,836	7.9
家具・家事用品	9,405	3.2	12,869	4.1	9,942	3.4	12,558	4.1
被服及び履物	8,247	2.8	9,702	3.1	7,832	2.7	9,536	3.1
保健医療	13,805	4.7	15,785	5.0	13,768	4.7	15,235	5.0
交通・通信	54,925	18.5	45,562	14.5	47,735	16.2	43,281	14.3
教育	6,768	2.3	11,936	3.8	7,371	2.5	11,362	3.8
教養娯楽	27,489	9.3	30,796	9.8	25,684	8.7	29,508	9.7
その他の消費支出	52,253	17.6	54,387	17.3	56,929	19.3	53,672	17.7
エンゲル係数※1(%)	29.0	-	28.6	-	27.4	-	28.2	-

※1)エンゲル係数=食料÷消費支出×100

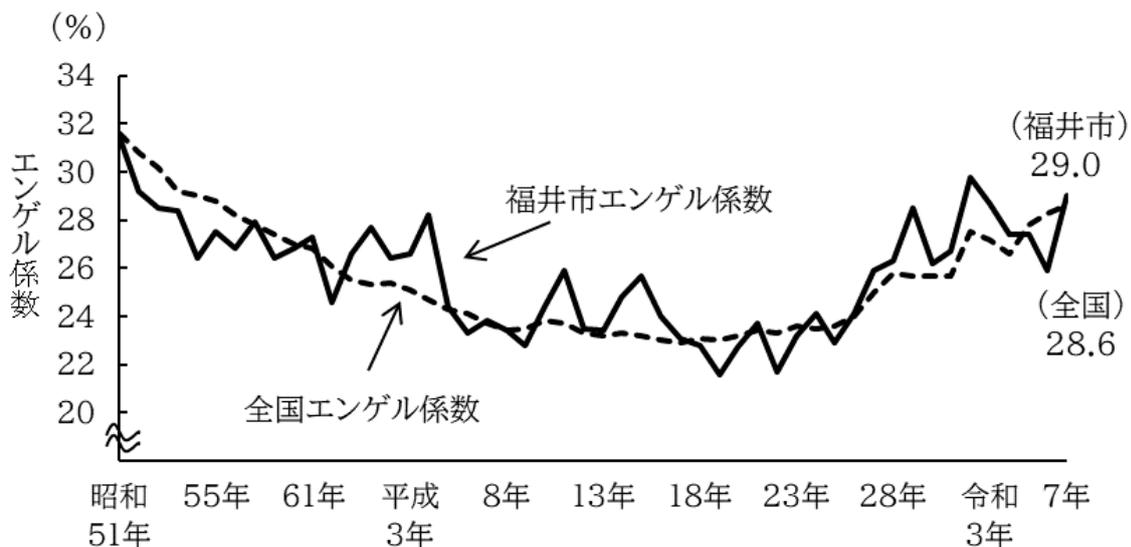
② エンゲル係数

福井市の令和7年の二人以上の世帯のエンゲル係数(消費支出の中に占める食料の割合)は、29.0%と、前年(25.9%)と比べ3.1ポイント増加した。全国は28.6%と、前年(28.3%)と比べ0.3ポイント増加した。

福井市のエンゲル係数の推移については、変動がみられるものの平成25年以降は上昇傾向である。

また、全国のエンゲル係数の推移については、平成13年ごろまではおおよそ減少傾向にあり、25年ごろまでは横ばいで推移していたが、それ以降は上昇傾向である。

図2 エンゲル係数の推移(二人以上の世帯)



## 2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計の概要

・福井市:集計世帯数 45、平均世帯人員 3.20人、平均有業人員 1.95人、世帯主の平均年齢 52.8歳

・全 国:集計世帯数 3,913、平均世帯人員 3.20人、平均有業人員 1.81人、世帯主の平均年齢 51.0歳

令和7年の福井市の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たりの1か月の家計収支の概要は、次のとおりである。(統計表 第3表・第4表・第5表)

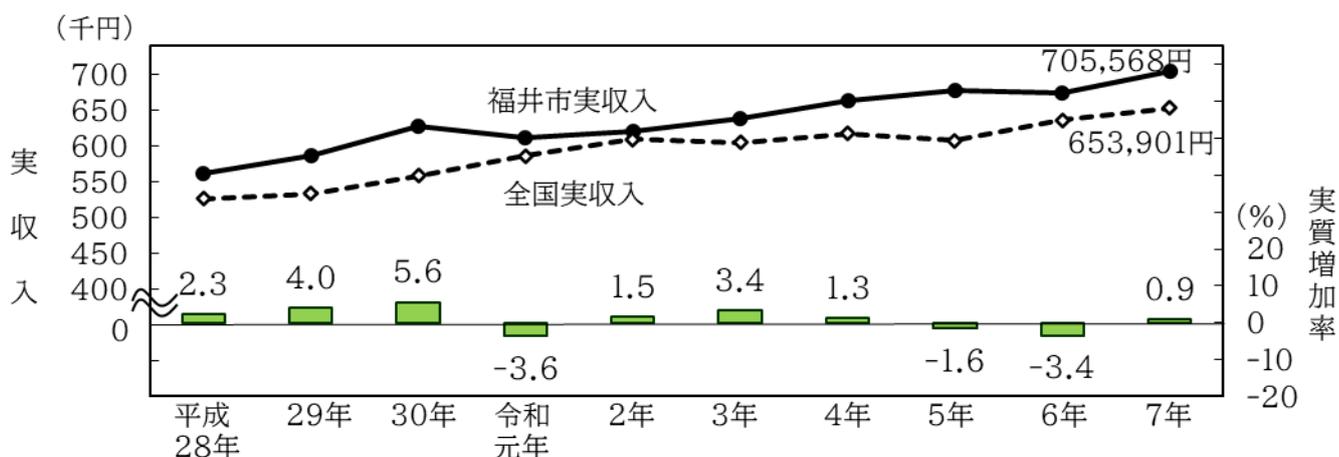
### (1) 収入の動向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1か月平均705,568円となり、前年に比べ名目4.6%増加、実質0.9%増加となった。

また、全国は、1か月平均653,901円となり、前年に比べ名目2.8%増加、実質0.9%減少となった。

過去10年の福井市の実収入の推移をみると、すべての年で全国値を上回っている。

図3 実収入および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



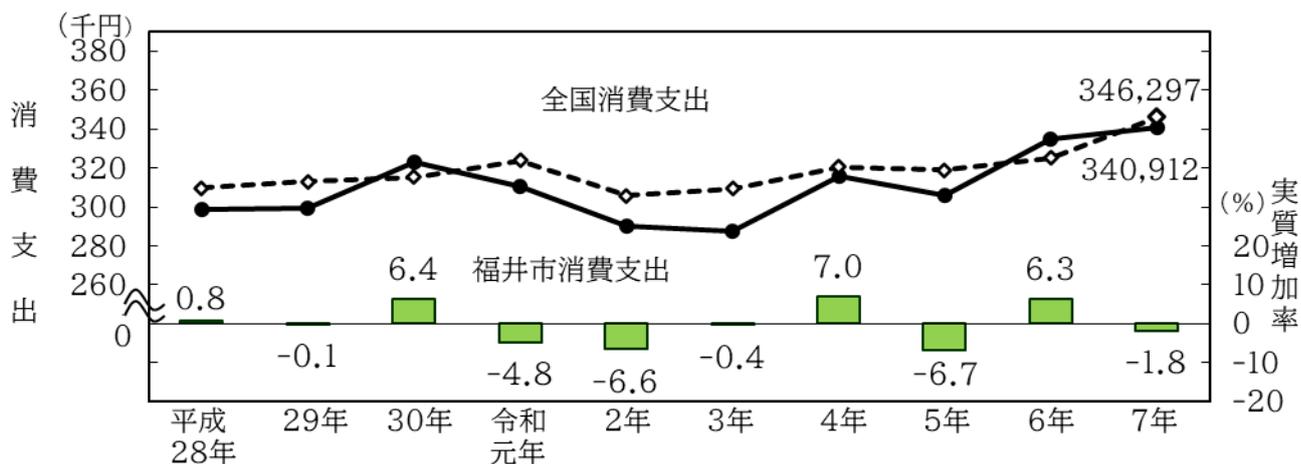
### (2) 支出の動向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1か月平均340,912円となり、前年に比べ名目1.8%増加、実質1.8%減少となった。また、全国は、1か月平均346,297円となり、前年に比べ名目6.5%増加、実質2.7%増加となった。

過去10年の福井市の消費支出の推移をみると、平成28年以降は全国値を下回る傾向が続いている。

(平成30年および令和6年は全国値を上回った。)

図4 消費支出額および福井市の対前年実質増加率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### (3)家計収支の内訳

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入の内訳をみると、福井市は、世帯主収入が66.8%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となった。

また、全国も、世帯主収入が72.0%と最も多く、次いで世帯主の配偶者の収入、その他の収入となった。

なお、福井市の実収入は全国平均を上回っており、世帯主の配偶者の収入および他の世帯員収入も全国平均を上回っている。

消費支出の内訳をみると、福井市は、食料が25.7%と最も多く、次いで交通・通信、その他の消費支出となった。

また、全国は、食料が27.1%と最も多く、次いでその他の消費支出、交通・通信となった。

家計収支バランスをみると、福井市の平均消費性向は58.8%と、全国平均(65.0%)を下回っているが、福井市の平均貯蓄率は48.0%と、全国平均(35.7%)を上回っている。

なお、3年平均をみても、おおむね同等の傾向になっている。

表2 福井市と全国の令和7年平均家計収支と3年平均家計収支(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

	令和7年平均				3年平均(令和5年～令和7年)			
	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)	福井市	構成比 (%)	全国	構成比 (%)
世帯人員(人)	3.20	-	3.20	-	3.26	-	3.22	-
有業人員(人)	1.95	-	1.81	-	1.92	-	1.80	-
世帯主の年齢(歳)	52.8	-	51.0	-	53.0	-	50.6	-
実収入(円)	705,568	100.0	653,901	100.0	685,886	100.0	632,746	100.0
世帯主収入	471,453	66.8	470,986	72.0	436,326	63.6	458,098	72.4
世帯主の配偶者の収入	139,186	19.7	107,549	16.4	137,213	20.0	103,327	16.3
他の世帯員収入	31,723	4.5	15,226	2.3	43,795	6.4	15,132	2.4
その他の収入	63,205	9.0	60,141	9.2	68,552	10.0	56,190	8.9
消費支出(円)	340,912	100.0	346,297	100.0	327,093	100.0	330,063	100.0
食料	87,766	25.7	93,789	27.1	84,100	25.7	88,765	26.9
住居	15,671	4.6	20,169	5.8	15,133	4.6	19,398	5.9
光熱・水道	26,214	7.7	24,182	7.0	27,784	8.5	23,501	7.1
家具・家事用品	10,740	3.2	13,850	4.0	11,153	3.4	13,289	4.0
被服及び履物	10,694	3.1	11,965	3.5	9,644	2.9	11,631	3.5
保健医療	15,742	4.6	14,574	4.2	13,609	4.2	13,968	4.2
交通・通信	80,254	23.5	56,917	16.4	65,458	20.0	52,715	16.0
教育	10,965	3.2	18,601	5.4	12,006	3.7	17,965	5.4
教養娯楽	26,240	7.7	34,058	9.8	27,378	8.4	32,284	9.8
その他の消費支出	56,626	16.6	58,192	16.8	60,828	18.6	56,548	17.1
非消費支出(円)	125,693	-	121,493	-	110,520	-	116,198	-
可処分所得※2(円)	579,875	-	532,408	-	575,367	-	516,548	-
黒字※3(円)	238,964	-	186,111	-	248,274	-	186,485	-
貯蓄純増(円)	278,526	-	189,811	-	263,229	-	183,673	-
平均消費性向※4(%)	58.8	-	65.0	-	56.9	-	63.9	-
平均貯蓄率※5(%)	48.0	-	35.7	-	45.7	-	35.6	-
エンゲル係数※1(%)	25.7	-	27.1	-	25.7	-	26.9	-

※1)エンゲル係数=食料÷消費支出×100

※2)可処分所得=実収入-非消費支出

※3)黒字=実収入-消費支出-非消費支出

※4)平均消費性向=消費支出÷可処分所得×100

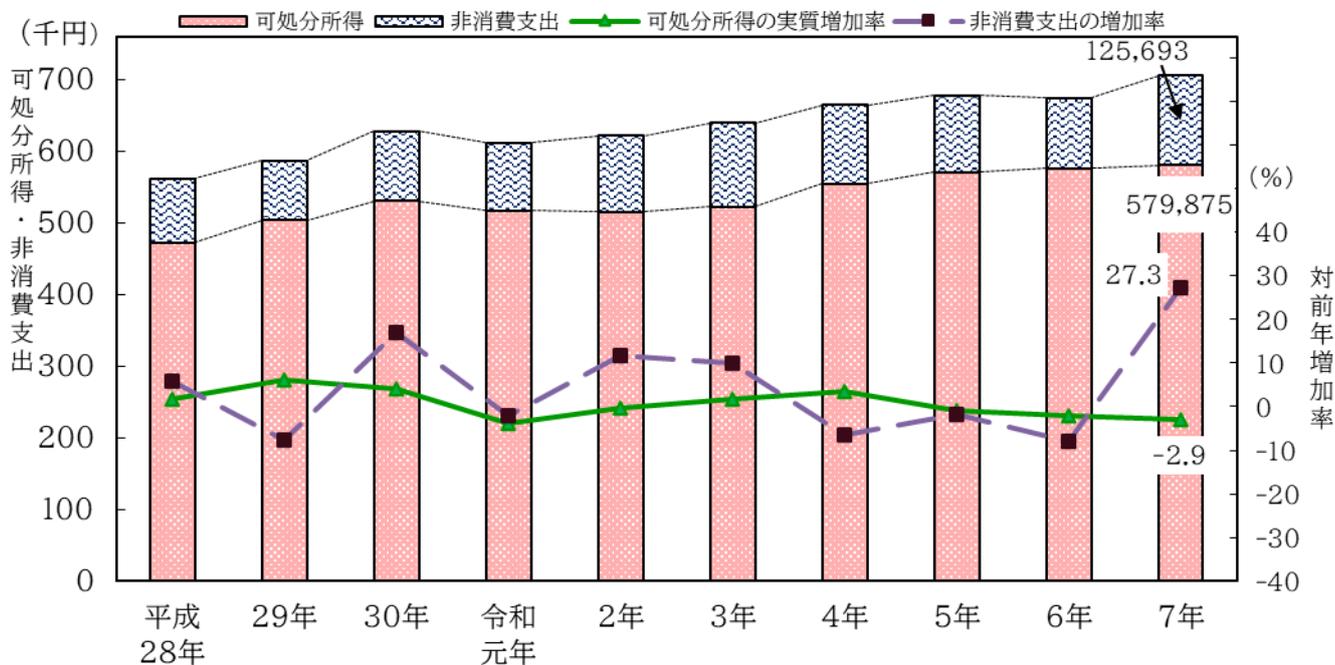
※5)平均貯蓄率=貯蓄純増÷可処分所得×100

① 可処分所得

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の可処分所得は、1か月平均579,875円となり、前年に比べ名目0.7%増加、実質2.9%減少となった。

非消費支出は、1か月平均125,693円となり、前年に比べ名目27.3%増加となった。

図5 可処分所得額・非消費支出額および対前年増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

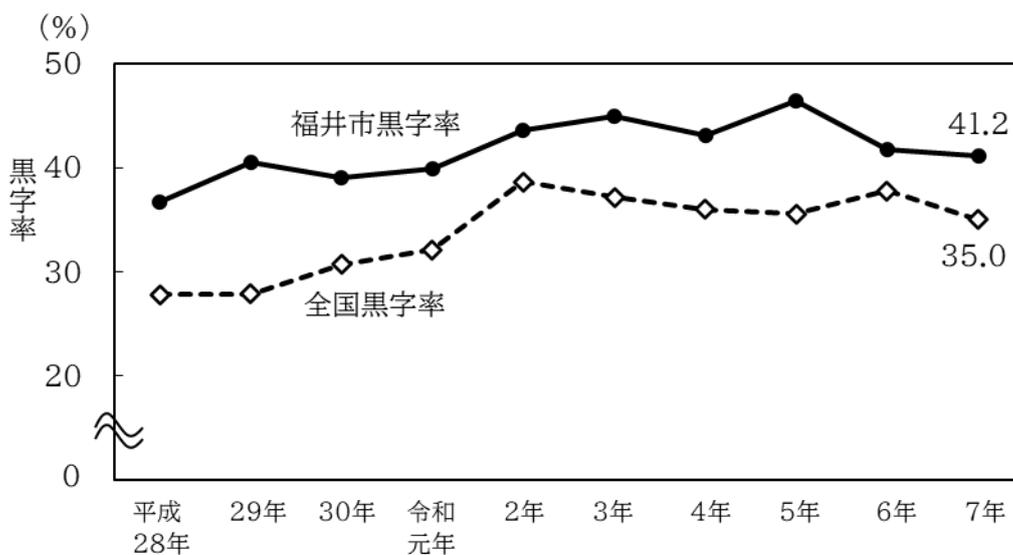


② 黒字率

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の黒字率(可処分所得に対する黒字の割合)は41.2%となり、前年(41.8%)を0.6ポイント下回った。

なお、全国の黒字率は35.0%となり、前年(37.8%)を2.8ポイント下回った。

図6 黒字率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



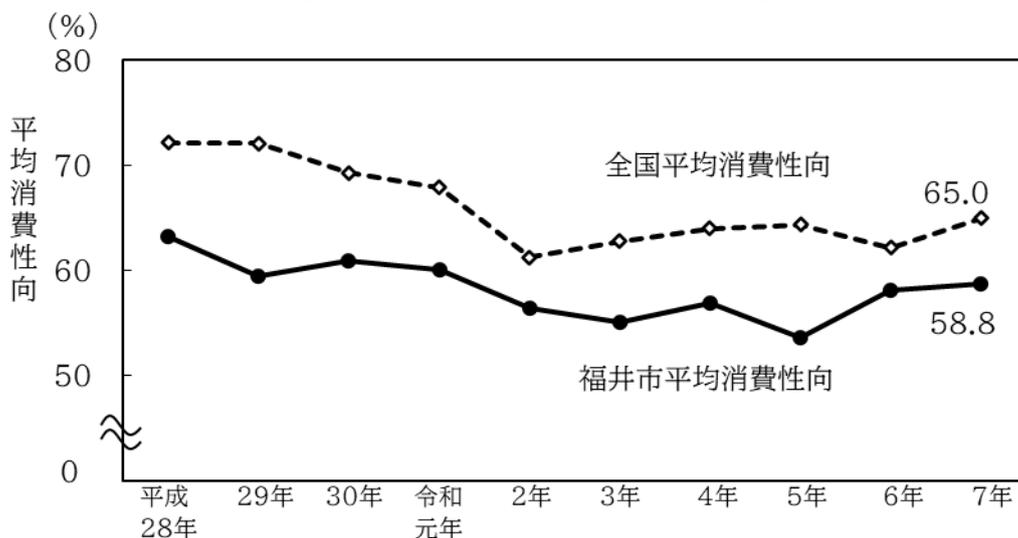
### ③ 平均消費性向

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)は58.8%となり、前年(58.2%)を0.6ポイント上回った。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均消費性向は65.0%となり、前年(62.2%)を2.8ポイント上回った。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を下回っている。

図7 平均消費性向の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### ④ 平均貯蓄率

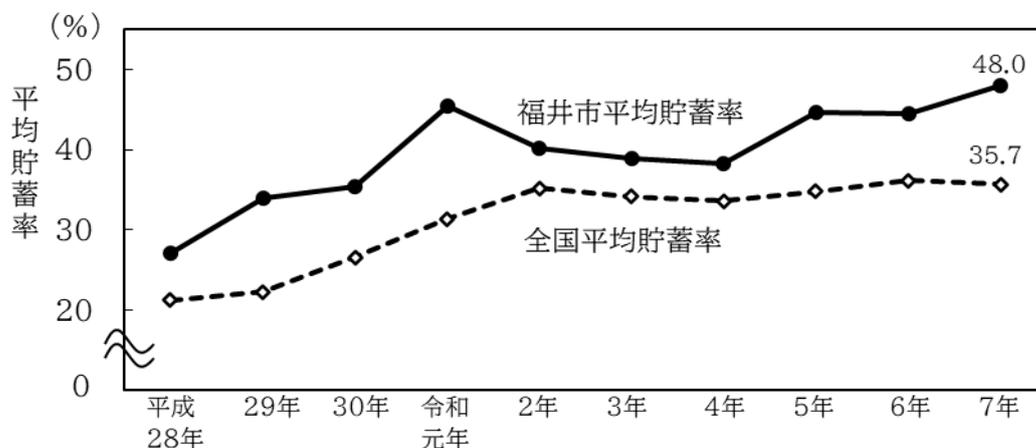
二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率(可処分所得に対する貯蓄純増の割合)は、48.0%となり、前年(44.5%)を3.5ポイント上回った。

なお、全国の二人以上の世帯のうち勤労者世帯の平均貯蓄率は35.7%となり、前年(36.2%)を0.5ポイント下回った。

過去10年の福井市の推移をみると、すべての年において全国値を上回っている。

また、全国および福井市ともに増加傾向にある。

図8 平均貯蓄率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



### 3 消費支出からみた福井市の特徴

令和7年の二人以上の世帯の1世帯当たりの品目別年間支出金額における都道府県庁所在市別※6の主なランキングは次のとおりである。

ただし、購入頻度が少ないものに関しては毎年の変動が大きくなる場合がある。金額ベースでの全国平均との比較は統計表第7表を参照されたい。(統計表 第7表)

※6)都道府県庁所在市に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市(都道府県庁所在市以外の政令指定都市)を含む52市

#### (1) 食料品※7

・「油揚げ・がんもどき」は品目別の集計が始まった昭和38年以降、63年連続1位となっている。

・「コロッケ」、「カツレツ」、「天ぷら・フライ」などの調理済み食品は上位にランキングされている。

※7)外食での支出は含まず。

#### 【上位の主な品目】

( )内は令和6年の順位、[ ]内は令和7年の順位

	1位	2位	3位
令和7年	もち (3)	だいこん (36)	さしみ盛り合わせ (12)
	さといも (3)	こんぶ (3)	ふりかけ (1)
	油揚げ・がんもどき (1)	こんぶつくだ煮 (4)	
	ようかん (1)	コロッケ (1)	
	カツレツ (1)		
	天ぷら・フライ (2)		
令和5～7年平均	もち [1]	さしみ盛合わせ [3]	かに [4]
	油揚げ・がんもどき [1]	さといも [1]	ふりかけ [3]
	こんぶつくだ煮 [2]	こんぶ [2]	
	ようかん [1]		
	コロッケ [2]		
	カツレツ [1]		
	天ぷら・フライ [1]		

#### 【下位の主な品目】

	50位	51位	52位
令和7年	ごぼう (52)	さんま (50)	小麦粉 (10)
	乾燥スープ (27)	キャベツ (48)	
		ピーマン (47)	
		ジャム (46)	
令和5～7年平均	小麦粉 [52]	ピーマン [51]	さんま [51]
	魚介の缶詰 [48]	風味調味料 [29]	豚肉 [49]
	ごぼう [50]		レタス [48]
	ジャム [51]		
	ケーキ [29]		

(2) 食料品以外

・住宅の床面積が大きい傾向にあるため、「電気代」の支出金額が上位にランキングされている。

【上位の主な品目】

( )内は令和6年の順位、[ ]内は令和7年の順位

	1位	2位	3位
令和7年	電気代 (1)	炊事用ガス用器具 (30)	外国パック旅行費 (40)
	国公立中学校 (5)	男性用学校制服 (48)	アクセサリ (48)
	ケーブルテレビ放送受信料 (1)		
令和5～7年平均	電気代 [1]		カーテン [51]
	国公立中学校 [1]		国公立高校 [19]
	ケーブルテレビ放送受信料 [1]		葬儀関係費 [34]
	介護サービス [8]		

【下位の主な品目】

	50位	51位	52位
令和7年	テーブル・ソファ (12)	民営家賃 (47)	シーツ (14)
	子供用靴下 (47)	都市ガス (45)	子供用下着 (51)
	胃腸薬 (47)	カーテン (2)	帽子 (52)
	コンタクトレンズ (31)	トイレットペーパー (50)	タクシー代 (48)
	歯磨き (49)	ポリ袋・ラップ (50)	スポーツウェア (49)
	化粧クリーム (52)	整骨(接骨)・鍼灸院治療代 (47)	ペットフード (42)
		航空運賃 (52)	理美容用電気器具 (27)
		ペット・他のペット用品 (50)	ヘアコンディショナー (47)
		動物病院代 (49)	腕時計 (18)
		音楽月謝 (28)	たばこ (46)
	整髪・養毛剤 (52)		
	世帯主こづかい (44)		
令和5～7年平均	ガス代 [52]	民営家賃 [51]	ベッド [45]
	子供服 [39]	都市ガス [51]	トイレットペーパー [51]
	子供用寝巻き [49]	タオル [44]	ポリ袋・ラップ [51]
	コンタクトレンズ [50]	子供用下着 [52]	帽子 [52]
	マッサージ料金等(診療外) [31]	子供用靴下 [50]	胃腸薬 [50]
	幼児・小学校補習教育 [42]	外傷・皮膚病薬 [41]	タクシー代 [52]
	歯磨き [50]	健康保持用摂取品 [49]	航空運賃 [51]
	化粧水 [35]	整骨(接骨)・鍼灸院治療代 [51]	高校補習教育・予備校 [39]
	口紅 [43]	レンタカー・カーシェアリング [49]	動物病院代 [51]
	ハンドバッグ [48]	スポーツウェア [52]	浴用・洗顔石けん [44]
	祭具・墓石 [48]	ペット・他のペット用品 [51]	整髪・養毛剤 [51]
		歯ブラシ [35]	化粧クリーム [50]
		たばこ [52]	
		世帯主こづかい [51]	

(3) 主な品目の他の都道府県庁所在市等との比較（令和5～7年平均）

もち

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	3,057
2	富山市	3,026
3	金沢市	2,672

油揚げ・がんもどき

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	5,855
2	京都市	4,309
3	金沢市	4,296

こんぶつくだ煮

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	2,027
2	富山市	1,992
3	福島市	1,726

ようかん

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	1,449
2	千葉市	1,286
3	長野市	1,284

コロッケ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	3,519
2	富山市	3,473
3	大津市	3,192

カツレツ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	4,282
2	富山市	3,334
3	新潟市	3,027

天ぷら・フライ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	福井市	18,276
2	新潟市	17,767
3	富山市	17,428

さしみ盛り合わせ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	北九州市	6,745
2	福井市	5,718
3	長崎市	5,579

さといも

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	山形市	1,856
2	福井市	1,568
3	新潟市	1,374

こんぶ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	富山市	1,587
2	福井市	1,285
3	青森市	1,174

かに

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	鳥取市	4,980
2	和歌山市	4,661
3	福井市	4,103

ふりかけ

順位	都道府県庁所在市等	金額（円）
1	熊本市	2,697
2	山口市	2,597
3	福井市	2,561

利 用 者 の た め に

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を明らかにし、国の経済政策、社会政策の立案のための基礎資料を得ることを目的としている。

## (2) 調査の対象

家計調査は、学生の単身世帯を除いた全国の全世帯を対象としている。

なお、下記に掲げる世帯は、世帯としての収支を正確に測ることが難しいなどの理由から、除外している。

- ・ 料理飲食店、旅館または下宿屋を営む併用住宅の世帯
- ・ 賄い付きの同居人がいる世帯
- ・ 住み込みの営業上の使用人が4人以上いる世帯
- ・ 世帯主が長期間(3か月以上)不在の世帯
- ・ 外国人世帯
- ・ 15歳未満の単身世帯
- ・ 社会施設又は療養所の入院者
- ・ 自衛隊の営舎内居住者

## (3) 調査の方法

学生の単身世帯等を除いた全国の世帯から抽出し、選定した約9,000世帯を調査し、その結果から全国の世帯の家計収支を推定する標本調査である。

## (4) 調査世帯の選定

国勢調査の結果を用いて、全国の市町村を地理的位置、人口の規模、産業的特色などの特性を考慮して層別し、各層から1市町村ずつ(全国で168市町村)を抽出する。

次に、抽出された市町村内に設置されている国勢調査の調査区に基づいて調査単位区を設定し、全国で1,346単位区を無作為に抽出する。そして、その単位区に住んでいる世帯の中から無作為に調査世帯を抽出する、層化3段抽出法に基づき選定している。

調査単位区では1年間調査が行われ、二人以上の世帯は6か月間、単身世帯は3か月間の調査期間終了後、次の世帯と交替する。

福井県では、二人以上の世帯を120世帯(福井市96世帯、敦賀市24世帯)、単身世帯を10世帯(福井市8世帯、敦賀市2世帯)の計130世帯を調査している。

(5) 調査の内容

調査世帯に毎日「家計簿」をつけてもらい、勤労者世帯と無職世帯は、収入と支出を、その他の世帯は、支出のみを調査する。

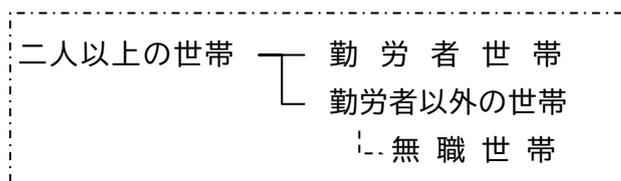
また、年間収入や、貯蓄等の調査も行っている。

(6) 調査世帯の区分

ア 勤労者世帯・・・世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などで雇われて勤めている世帯

イ 勤労者以外の世帯・・・世帯主が自営業者、個人営業者や、会社役員、社長など使用者側にある世帯、無職世帯など、勤労者世帯以外のすべての世帯

ウ 総世帯・・・・・・・・二人以上の世帯と単身世帯を合わせた世帯



## 2 用語の説明

- 1) 世帯・・・住居および生計を共にする人の集まり  
2) 世帯主・・・その世帯の主たる収入を得ている人 ( ) 「3 家計収支関連図」参照

- 3) 実収入・・・税込みの現金収入（経常収入+特別収入）  
4) 実収入以外の収入・・・現金が入るが、資産の減少または負債の増加が生じるもの  
5) 実支出・・・消費支出と非消費支出を合計したもの  
6) 消費支出・・・日常生活に必要な支出で、仕送り金や贈与金も含まれる  
7) 非消費支出・・・税金、社会保険料など世帯の自由にならない支出  
8) 実支出以外の支出・・・現金が支出されるが、資産の増加または負債の減少が生じるもの

- 9) 可処分所得・・・手取収入（実収入-非消費支出）  
10) 黒字・・・マイナスの場合は赤字を示す（実収入-実支出）  
11) 貯蓄純増・・・（預貯金預入-預貯金引出）+（保険掛金-保険取金）  
12) 平均消費性向・・・生活の余裕の度合いを表す指標（一般に収入の高い世帯ほど、小さくなる）

$$\frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 13) 黒字率・・・家計の余裕の度合いを計る指標

$$\frac{\text{黒字}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 14) 平均貯蓄率・・・
$$\frac{\text{貯蓄純増}}{\text{可処分所得}} \times 100$$

- 15) エンゲル係数・・・生活水準の高低を表す指標（一般にエンゲル係数が低いほど生活水準が高い）

$$\frac{\text{食料}}{\text{消費支出}} \times 100$$

- 16) 実質金額指数・・・
$$\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{令和2年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{100} \right) \times 100$$

- 17) 名目増加率・・・前年の金額に対する今年の金額の伸びのこと

$$\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} - 1 \right) \times 100$$

- 18) 実質増加率・・・名目増加率から物価の上昇分を除いたもの

消費支出の各項目ごとの実質増加率は次式により求めている。

$$\left( \frac{\text{今年の金額}}{\text{前年の金額}} \div \frac{\text{今年の消費者物価指数}}{\text{前年の消費者物価指数}} - 1 \right) \times 100$$

ただし、「実収入」、「可処分所得」、「消費支出」、「その他の消費支出」、「こづかい(使途不明)」、「交際費」および「仕送り金」は消費者物価指数の「持家の帰属家賃を除く総合」、「家賃地代」は「持家の帰属家賃を除く家賃」を用いている。

### 3 家計収支関連図

収入総額	実収入	経常収入	勤め先収入	世帯主収入 世帯主の配偶者の収入 他の世帯員収入	
			事業・内職収入	家賃収入 他の事業収入 内職収入	
			他の経常収入	財産収入 社会保障給付金 仕送り	
		特別収入	受贈金 その他		
	実収入以外の収入		預貯金引出金 保険取金 有価証券売却 土地家屋借入金 他の借入金 分割払購入借入金 一括払購入借入金 財産売却 その他		
	繰入金				
支出総額	実支出	消費支出	食料 住居 光熱水 家具・家事用品 被服及び履物 保健医療 交通・通信 教育 養育 娯楽 その他の消費支出	料 居 道 品 物 療 信 育 楽 支 出	
			非消費支出	勤労所得税 個人住民税 社会保険料 他の非消費支出	税 税 料 支 出
			実支出以外の支出	預貯金 保険掛金 有価証券購入 土地家屋借金返済 他の借金返済 分割払購入借入金返済 一括払購入借入金返済 財産購入 その他	金 金 入 済 済 済 入 入 他
	繰越金				





令和7年  
**家計調査概要**  
福井市の家計

令和8年3月発行

編集・発行 福井県  
未来創造部統計調査課  
人口統計グループ

〒910-8580  
福井市大手3丁目17番1号  
電話 0776-20-0273 (直通)  
0776-21-1111 (代表)

福井県統計調査課ホームページ

福井県家計調査

検索